

【事務所】

船橋市前原西8-24-8
 ☎490-3333 FAX 465-7117
 Eメール hiroei@muc.
 biglobe.ne.jp
 ホームページ http://www.
 hiroei.jp



「活きていることわざ」

船橋市議会議員（無所属・3期）
 神田 廣栄（かんだひろえい）市議会報告

捲土重来（けんどちょうらい）。一事が万事（いちじがばんじ）

【捲土重来】◇一度失敗したり敗れたりした者が、勢いを盛り返してやってくること。
 ・「捲土」は土ほこりを巻き上げる意で、すさまじい勢いで再びやってくる意から。

【一事が万事】◇一つのことを見て、ほかのすべてのことを推し量ることができる、ということ。

新年おめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。寒さが厳しくも天候には恵まれた年明けでした。昨年のような異常な自然災害も無く平穏な日々が続くことを祈ります。

議員定数削減否決される

昨年暮れに突如衆議院の解散・総選挙があり、事前の予想通り自民党が圧勝しました。とはいえ、全国的な投票率の低さに「政治不信」「政治離れ」が加速されていることが明らかになったのではないのでしょうか。船橋市は全国平均よりも若干高かったのですが、市全体で52.78%という低さでした。

今回から市全体が4区という単独の選挙区から、北部地区が13区に分離され、戸惑った方も多かったと聞いています。

まず、選挙区で当選され、私も応援した民主党「野田よしひこ」氏にお祝いを申し上げます。また、船橋市に居住され比例の関東ブロックで当選された公明党の「角田秀穂」氏、復活当選された日本共産党「さいとう和子」氏にお祝い申し上げます。そして以外と知らない方がおられますが、日本共産党の「志位和夫」氏も夏見に居住されています。なんと一挙に4人の衆議院議員が誕生しました。

残念だったのが、自民党「木村てつや」氏です。彼は立候補の際に「野田さんは欠点がなく、尊敬できる方です。ネガティブキャンペーンはしません」と言われ、正々堂々と戦いました。その彼の得票は67,600票。24,275票で復活当選した方がおられるのに悔しさは理解できます。木村氏の「捲土重来」を期待しますとともに、一度落選しても比例復活で当選できる制度に疑問を持っています。



さて、野田氏が総理大臣の時に、当時の安倍自民党総裁とテレビ中継による党首討論で「議員定数の削減」を約束し、さらに党書まで交わし、大敗覚悟で衆議院を解散したのに、全く反故(ご)にされ、今回の選挙となったのです。国の政治家の約束なんて当てにならないものです。

ところで、昨年の9月議会に私たち会派凛と会派民主党で、船橋市議会議員の定数を50人から5人削減して45人とする発議案を議会に提案しました。

削減理由は2つです。一つは「決して楽観できない経済状況を鑑みて、議会が率先して経費を削減する必要がある」。もう一つは「人口が62万人の本市より、約100万人と多い千葉市が54人から50人に削減するなど、本県各市においても定数削減している」ことです。

景気が良くなったと言っている政党がありますが、まだまだその実感はありません。地価はまだ下がり続けていますし、給料も増えていないのが現実です。恩恵があるとすれば、都市部や大企業の一部ではないでしょうか。

我々の提案に対して真っ先に反対したのが、自民党無所属を名乗る会派でした。アベノミクスの称賛に始まり、「政令都市の千葉市と船橋市は違う」とか「経済状況が良くなればまた増員すると思われるが」など意地悪な質問に終始し、揚げ句の果ては「この提案は大衆迎合のパフォーマンスではないか」「市長や執行部に裁決権があれば全員が賛成するのではないか」など皮肉たっぷり、削減は全く考えていません。



他の会派は「56人がスタンダードだ」とか「市民との対話に現在の50人でもフォローできるか疑問だ」と反対意見を述べました。

私たち会派は、議員定数は40人にすべきと訴えてきていましたが、より賛同を得られるように45人を提案したのです。

本音を言えば、選挙で選ばれる私たちは、より門戸が広いほうがいいに決まっていますが、果たしてそれで良いのでしょうか。私たち議員が率先して身を切る覚悟が必要なことは明白です。

採決の結果、議員定数削減に、会派凛4人、会派民主党2人、旧みんなの党3人（現在は、自民党無所属に2人と無所属1人に異動）、無所属1人の合計10人が賛成したのみで、残念ながら否決されてしまいました。

私たちは今後も、引き続き定数削減を主張してまいります。

税金の違いが間違っています。

毎年年末近くになると、新年度予算に議会として必要なものを各会派から提出し、会派代表者会議で議論します。

今回なんと「タブレット端末を議員全員に配布して欲しい」との要望が4つの会派から出ました。理由は「今は、ペーパーレスの時代だ」というのです。議会事務局の労力削減が目的だということです。理由は理解します。が、私は「必要ない。百歩譲っても市の予算でなく自分で購入すべきだ」と主張しました。反対したのは私と日本共産党の代表2人だけでしたが、最終的に4会派の要望は没になりました。



ところが、またぞろ自民党無所属の議員と公明党の一部議員が「IT議員連盟」を作って、蒸し返しの動きをしています。

聞くところによると、既にある業者を呼んで説明をさせているらしいのです。タブレット端末はそんなに高額ではないのですが、その後のソフト、システム関係が高額になるということです。このこだわり具合は、何かキナ臭い感じがしてなりません。

本会議場の改修工事、議長車運転業務委託、旅行業者選定の件といい『一事が万事』目に見えない所で何かがあるような気がしてなりません。気のせいならいいのですが……。

税金の無駄遣いをしていないか、特定議員が利益誘導していないか注視していきます。

いよいよ冬本番です。風邪などひかないように気をつけてください。

皆様の「不安を安心に」「不満を満足」にすべく今年も精一杯頑張ります。